

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-110	14-056	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Modifying effects of resting heart rate on the association of binge drinking with all-cause and cardiovascular mortality in older Korean men: the Kangwha Cohort Study. 韓国の高齢男性における安静時心拍数が大量飲酒と死亡率の関係に与える影響について		
執筆者		
Ryu M, Gombojav B, Nam CM, Lee Y, Han K		
掲載誌		
J Epidemiol. 2014;24(4):274-80.		
キーワード		PMID
飲酒、循環器死亡、総死亡、安静時心拍数		24705645
要 旨		
<p>目的： 大量の飲酒と安静時の心拍数は独立して循環器死亡率や総死亡率に影響するが、この 2 つの要因が同時に存在するときの影響や相互作用についてはほとんど研究されていない。本研究では、韓国人男性において、大量飲酒と循環器死亡率・総死亡率との関係を明らかにし、安静時心拍数がこの関係にどのような影響を及ぼすか評価することである。</p> <p>方法： 1985 年に 55 歳以上であった男性 (2,600 名) を 2005 年まで 20.8 年間循環器死亡率・総死亡率を追跡調査した。コックス比例ハザードモデルを用いて大量飲酒と安静時心拍の循環器死亡率・総死亡率のハザード比を求めた。</p> <p>結果： 非飲酒者で安静時心拍数が 61-79/分の群を基準として、1 回に 12 杯以上飲む大量飲酒者で安静時心拍数が 80/分以上の群は、循環器死亡のハザード比 2.25(95%CI 1.47-3.45)、総死亡のハザード比 1.37(95%CI 0.87-2.14)であった。安静時心拍数が 80/分以上の群の循環器死亡のハザード比は、非飲酒、少量、中等量、大量の群でそれぞれ、1.36、1.52、1.71、2.25 であり、直線的に上昇していた。</p> <p>結論： 韓国の高齢男性では、安静時心拍数が多い大量飲酒者は循環器死亡・総死亡ともリスクが高いことが示された。</p>		